「ブラウン裁判」「ペンタゴン・ペーパーズ判決」etc.

特集 今すぐ誰かに話したくなる！

アメリカを作った歴史的判決9選

アメリカでは2019年、11の州が相次いで
妊娠中絶を禁止する法律を可決した。
アラバマ州の新法の対象には、
女性が襲われるなどして妊娠したケースも含まれ、
中絶手術を行った医師には最長99年の禁固刑が科されるという。
しかし、アメリカの連邦法では、
中絶は女性の権利として守られており、
その中絶合法化を決めた歴史的判決が「ロー対ウェイド裁判」だ。
アメリカにはこのような、現代のアメリカを形作った歴史的判決があり、
ニュースにもたびたび登場する。
本特集で紹介する代表的な判決を知ることで、
アメリカという国の特徴をつかむことができるはずだ。

執筆者：石田 裕敏
姫路獨協大学人間社会学群現代法律学類教授。京都大学法学修士。
1994-95年、カリフォルニア大学バークレー校ロースクール客員研究員。
1999-2006年、京都大学高等教育研究開発推進機構非常勤講師（英語担当）。1960年大阪生まれ。
編集：竹内佑介　英文校正：Dean Robson
写真：Bragin Alexey/Shutterstock.com

国旗を燃やすことは許されるのか?

1984年、テキサス州ダラスで当時のレーガン大統領の政策に抗議するために、グレゴリー・ジョンソンが星条旗に灯油をかけて火を放った。テキサス州法で同行為が有罪とされたジョンソンは最高裁に上訴。「表現の自由」は守られたのか。

Texas v. Johnson 1989

グレゴリー・ジョンソン（右）と彼の弁護士ウィリアム・クンスラー

21 州法 vs. 合衆国憲法

The 1984 Republican National Convention was held in Dallas, Texas. During the convention, a group of people staged a political demonstration in the city to protest the policies of President Ronald Reagan. At the end, one of the protesters, Gregory Johnson, burned the Stars and Stripes. Johnson was convicted of violating a Texas statute which prohibited the desecration of the national flag. He challenged the conviction, arguing that his conduct constituted "symbolic speech" protected by the First Amendment, which guarantees freedom of speech.

The US Supreme Court agreed with Johnson. The court held that his flag burning was "sufficiently imbued with elements of communication" to implicate the First Amendment. The court rejected the state's asserted interest in preserving the flag as a symbol of national unity. The court reasoned that if states may prohibit the burning of a flag whenever it endangers the flag's symbolic role by conveying disagreeable messages but allow the burning of a dirty flag in a ceremonious way, that would mean permitting states to prescribe what constitutes an orthodox attitude toward a flag. In the court's view, under the principle of freedom of speech, the best way to preserve the flag's special role "is not to punish those who feel differently about these matters" but rather to "persuade them that they are wrong" by giving them counter-messages, such as "by saluting the flag that burns."

stage a demonstration: デモを行う／**be convicted of doing:** ～したとして有罪判決を受ける／**statute:** 法、法律／**desecration:** 冒とく／**constitute:** ～となる、～である／**hold that:** 〈裁判官などが〉～だと判示する／(**be**) **imbued with:** ～がしみ込んでいる／**implicate:** ～を関係させる／**assert:** ～を主張する／**unity:** 統合／**disagreeable:** 不愉快な、嫌な／**prescribe:** ～を規定する／**orthodox:** 正統な／**salute:** ～に敬礼する

1984年、テキサス州ダラスで共和党全国大会が開かれていた。大会期間中、市内である集団がロナルド・レーガン大統領の政策に抗議する政治デモを実行した。デモの終わりに、抗議者の一人、グレゴリー・ジョンソンが星条旗を焼却。彼は、米国国旗冒とくを禁じるテキサス州法に違反したとして有罪判決を受けた。彼は、自分の行為が言論の自由を保障する合衆国憲法修正第1条によって保護される「象徴的言論」であったと主張し、有罪判決に異議を申し立てた。

合衆国最高裁は彼に同意した。最高裁は、彼の国旗焼却は修正第1条の対象となるのに「十分なほどコミュニケーションの要素が込められて」いたと判示した。最高裁は、州側が主張した国家統合の象徴として国旗を保全する利益を認めなかった。その理由を次のように説明した。もし州が、国旗焼却が不快なメッセージを伝えることでその象徴的役割を危険にさらすときには焼却を禁じることができるのに、(廃棄の際などに) 汚れた国旗を厳かに焼却することは許すとすれば、国旗への正統的態度を州が定めることを許すことになる。最高裁によると言論の自由の原則のもとで、国旗の特別な役割を保護する最善の方法は、「これらの事柄 (国旗の扱い方) について異なった感じ方をする者を罰することではなく」、むしろ例えば、「燃える国旗に敬礼するなどの方法によって」正反対のメッセージを伝えて「彼ら (国旗焼却者など) が間違っていると説得することである」。

写真 左：ungvar／Shutterstock.com
右：Joel Seidenstein／Wikimedia Commons